

申 36 号

(株)JR東日本運輸サービス (JETS) へ

3月
2日

2022 年度賃金引き上げに関する

申し入れ **提出!**

輸送サービス労組の要求

申し入れ項目

実質賃金を低下させない
物価上昇1.1%相当還元する

全社員一律
4,000円の
ベア実施

1. 賃金引き上げにあたっては、2022年4月1日以降のJR東日本輸送サービス労働組合員の基本給を一律 4,000 円(定期昇給を含まない)引き上げること。

労働の価値の高まりを
正当に評価・還元する

定期昇給の
完全実施

2. 労働者にとっての“働きがい”、“生きがい”、“こころの豊かさ”と安心した生活設計を構築していくために定期昇給を実施すること。

3. この要求に対する団体交渉を速やかに調整し開催すること。

4. 回答については、2022年3月18日までに行うこと。

働きがいと生きがい、こころの豊かさを実感できる

ベースアップの満額回答と定期昇給の実施を組合員と共に目指します!



申
36
号



(株)JR東日本運輸サービス (JETS)

2022年度賃金をはじめとした 総合労働条件の向上を求める申し入れ

4月22日 団体交渉を行う!

会社回答

【正社員の給与改定】

ベアゼロ

基本給4号俸、職能給4号俸の昇給

昇給の精算は、2022年6月20日以降
準備出来次第

【契約・パートタイマー等の

社員の基本賃金の改定】

契約者社員の賃金(日額) **80円増**

パートタイマー等の社員の賃金(時給) **10円増**

シニア社員の一部に対して、**特別昇給**

特別契約社員に対して、特別昇給

実施日 2022年5月分支給分(4月実績)から実施

4月22日交渉にて会社回答が示されるが、要求との隔たりがあったことから、**席上妥結とせず、持ち帰り中央執行委員会にて議論しました。**

今交渉において、年功賃金の維持を確認するとともに、安全に対する設備投資を行い、働きやすい職場環境の向上に努めていく労使の認識一致を図ってきたこと。また、更に労働条件の向上に向けた輸送サービス労組運動を強化していくことをもって**妥結**しました。

私たちの主張

- ベースアップは物価上昇分を考慮した生活維持向上分であり誰にも等しくあるべきもの。定期昇給は1年間の労働によって向上した能力に対する評価の対価である。
- 2021年度の決算状況を示すこと。
- 構内運転士の免許を取得してから転職をする社員がいる実態がある。人材の確保と定着を目指すために、賃金を含め労働環境をしっかりと整備し、魅力ある会社づくりを行うべきだ。
- **作業の見直しがされているが、サービスの低下が懸念される。**コスト削減の中でどのようにサービスレベルを維持・向上していくのか。
- コスト削減において、社員の命を守る観点から**安全に関するものにはコスト削減を行わないこと。**
- 夏場での作業において、引き続き給水や塩飴などの社員の体調管理を行うこと。

会社の主張

- 収益のほとんどはJR東日本からの受託費となる。経費としては人件費が9割を占める。
- 2021年度第3四半期の状況であるが、売上高は対前年94.7%。営業利益は対前年比70.5%である。**最終的な営業利益予想は2億円の黒字を見込んでいる。**しかし、今年度は受託業務の見直し等によって**収益の減少が予想されることから赤字になることも想定しており、厳しい経営状況である。**
- 昔は免許を取ってから離職する社員がいたが、今では減少している。
- 誰でも清掃作業ができるために重量のある「ポリッシャー」から、軽くて使いやすい「アイモップ」を導入した。いかに清掃で人をかけずに行うか、試行錯誤しながら1日の実作業時間の効率化を目指す。
- **安全第一は変わらない。**足場の強化なども含めて安全投資をやっていく。働きやすい職場は、賃金の関係もさることながら、働いている環境の改善も社員・家族の幸せにつながる。
- スポーツドリンクや空調ファン付きベストを購入し、熱中症対策を引き続き行なっていく。

組合員の負託に応えるために声を上げ続けます!